

2016年10月3日

## アマゾン「キンドル アンリミテッド」サービスにおける 講談社作品の配信停止につきまして

8月3日からアマゾンジャパン合同会社（以下、アマゾン社）がスタートした、いわゆる電子書籍の読み放題サービス「キンドル アンリミテッド」におきまして、講談社はこれまで1,000を超える書籍や雑誌のタイトルを提供してまいりました。

ところが同サービスが展開する過程において、先日、一部報道にございました通り、アマゾン社側の一方的な事情により、同社ランキング上位に並ぶ書目が提供元の弊社に何らの連絡もなく、配信を停止されるという事態が発生しておりました。この際、弊社の提供書目は十数作品がサービスの提供から除外されております。この事態により、著作者との間で合意している提供書目が著作者のかたがたへ事前にご説明させていただくことなく同サービスから消えることとなり、さらに人気書目の閲読を楽しんでいた読者の皆様にも大きな不利益をもたらすこととなりました。

弊社といたしましては、アマゾン社が独断でこのような配信停止措置を採り得るものではないと考えておりますし、今回のような事態を、読者の皆様や提供した書目の著作者のかたがたにご理解いただくことが困難であると考えています。そこで弊社は今回の事態に対し、これまでアマゾン社に強く抗議をし、また、同時に同サービスにおける配信の原状への復帰を求めてきました。

しかしながら事態は好転いたしませんでした。そればかりか、弊社が抗議を行っている最中に、アマゾン社は、9月30日夜以降、弊社が提供する1,000を超える作品すべてを、一方的に同サービスから削除しました。このような状況に、書目を提供してきた出版社として大変困惑し、憤っております。

弊社はこの一連の事態に遺憾の意を示すとともに、アマゾン社の配信の一方的な停止に対して強く抗議いたします。サブスクリプション・モデルと呼ばれる定額のコンテンツ提供サービスの健全な発展のためにも、引き続きアマゾン社には善処を求めてまいります。

株式会社講談社